

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年09月06日

計画の名称	富田林市における安全・安心下水道改築計画（その2）（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	富田林市												
計画の目標	老朽化した下水道管の管路不良による道路陥没等を未然に防止し予防保全的な管理を行うとともに、ライフサイクルコストの最小化を図るためPFI事業にて長寿命化を含めた計画的な改築及び不明水調査を行っていきます。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	500	A	445	B	0	C	55	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	11	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	ストックマネジメント計画の改築延長施工率を0.0%（H30当初）から100.0%（H34末）に増加させる。 第2期下水道長寿命化計画改築延長 改築対象延長 L=3,240.6m 改築施工延長（m） / 改築対象延長（m）	0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H30	H31	R02	R03	R04						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富田林市	直接	富田林市	管渠(汚水)	改築	狭山処理区 ストックマネジメント計画改築工事実施	PFI事業による 管更生 L=3.2km 人孔蓋替え 856箇所	富田林市						445	-	策定済			
		下水道ストックマネジメント計画																				
													小計						445			
													合計						445			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	富田林市	直接	富田林市/ 個人	管渠（ 汚水）	改築	狭山処理区 不明水対策 実施	P F I 事業による誤接続対策 3,470箇所	富田林市						55	-	-
		基幹事業(A07-001)であるストックマネジメント計画改築工事と不明水対策をPFI事業により一体的に行うことで、個人家屋内の誤接続解消ができ効果的である。																	
		誤接続調査については直接補助事業, 誤接続解消工事については間接補助事業で事業者は個人																	
											小計						55		
											合計						55		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 本市下水道課にて事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和4年度に実施
	公表の方法 本市ホームページにて好評
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	2830mの改築工事を行い、劣化していた下水道管が健全な状態となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
残りの改築対象の下水道管において改築工事を行う。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	改築施工延長/改築対象延長	
	最終 目標値	100%
	最終 実績値	87%
		改築工事をH30～R5で契約しており事業途中であるため